

議会報告「市民との意見交換会」記録

日 時：令和元年 11 月 22 日（金）13 時 00 分～14 時 30 分

場 所：議員協議会室

出席者：加西市手をつなぐ育成会（10 名）

担当班：加西市議会 B 班

第 1 部 議会報告

令和元年 9 月議会の報告

(育成会)議会報告を聞いて、発行されている議会だよりをより深く理解する機会をいただき勉強になった。市の収支が黒字であれば、福祉への措置をお願いしたい。福祉は目に見えにくいもので、障がいをもって生きづらい者が楽しく生活するうえで、なにが大事か私たち保護者が具体的に提示して要求をできたらと思う。

(議 会)自治体の会計は会社とは違い、単年度の予算に対して黒字か赤字かということであり、そのお金を違う用途には利用できない。そのため残った黒字額の半分を基金に積み立てている。いまは来年度の予算をたてているところであり、要望を聞くタイミングとしては良い時期である。

第 2 部 意見交換会

(育成会) 子供は知的障害で大きな声を出したり夜中に起きたりして、作業の仕事ができない悪い状態が続いている。宿泊施設が少なく、入所できない状態だと聞いている。親も精神的に続かなくなっており遠い施設は大変なので、加西市にも預かり施設を作ってもらえるよう考えてほしい。

(育成会) 通所施設に通っているが仕事が少ない。てんかんを持っていて、朝方に発作が起こるため、ショートの職員の手がまわらず、なかなか入れてもらえない。職員がたくさんいて、いつでも安心して入れてもらえる施設がほしい。

(育成会) 加西市役所福祉課の窓口担当者がころころ替わる。一つの病名で一つの病院にかかるという条件があるが、子供は治療で 3ヶ所に掛け持ちでかかっており、事情が担当者が変わるとわからなくなる。自立支援センターの専門がほしい。

また加西病院の神経内科の常勤の先生がおられなくなって、遠くに行っている。近くに通えるよう加西病院の充実をお願いしたい。

(育成会) 私たちが高齢になると、子供の将来が不安で近くに入れるところがほしい。葬式等、急に預かってもらいたくても難しく、実際に遠いところに車で連れていけなくなった時のことを思うと不安である。

(育成会) 障害でも一番わかってもらえないのは知的障害です。大きな声を出すとか、飛び上がるとか、イメージだけでは伝わりにくい。私たちのイベントに参加して頂いた

り、さりげない日常の中で、子どもたちを見てほしい。寄り添う心やわかってやろうという気持ちをもってほしい。警察や消防署とのパイプ役になってほしい。

今、なかなか企業就労につなげられないので、コミュニケーションが取れない子どもの就職をフォローしてほしい。

(育成会) 防災でもしもの時に障害者の避難場所がわかるマニュアルを作ってほしい。災害が発生したときは手をつなぐ会の全国組織があり、薬等の支援はしてもらえるが、市内のどの避難場所に障害の人の誰がいるかわからない状態なので、加西市の災害時のネットワークを考えてほしい。

(育成会) 子供はてんかんがひどい状態である。加西病院の神経内科常勤の先生がおられなくなったこともあり、遠方の病院に車で連れて行っている。そのことが最近、苦痛になっているので、投薬・検査を近くの病院でできるようお願いしたい。

子どもより一日でも長く生きたいと思っているが、親が安心して、子どもをおいて死ねる社会になってほしい。今は病院の問題が一番大きい。

(育成会) 年二回、全身麻酔をして歯の治療に市外の病院に通っているが、親が送迎できる間はいいが、加西市内で受けられるようにしてほしい。現在、歯の治療に全身麻酔のできる病院に55分かけて通っているが、口腔ケアのできることを充実させてほしい。

(育成会) 加西市内の宿泊施設は知的障害1ヶ所(希望の里)、身体的ケア1ヶ所(ナーシングピア)、医療的ケア1ヶ所(きずな)がある。知的施設は北播磨では多可町、三木市、加西市(希望の里)の3ヶ所あるが、北播磨全域から利用希望者が来られるので、地元の方の受け入れが困難になってきており、緊急の場合の対応ができない状態である。

また施設は、慢性的に国の報酬単価が全体的に下がってきているので、人員を十分配置できない状況になっていて、職員一人に対しての利用者が多い状態になっている。

親亡き後の対策では遅い。いま親が元気なうちに考えないといけないが、現在、国の施策で施設を建てる補助金が出なくなっている。

そのため、ここ最近、就労支援Bが増えているが、生活介護の施設は少ないので市外に行くようになるが、市外からの受け入れ枠が少なくなってきていて、通っている方は形見の狭い思いをされている。

加西病院の神経内科が新規の受け入れをされなくなっている。

(議 会) 加西市内で、知的障害者の方がどのくらいおられるのか。

(育成会) 現在、育成会では人数の把握ができない。兵庫県では知的障害の方のみならず、発達障害の方は療育手帳を持っているので数は多い。育成会の会員数はあまり増えていない。

育成会に入っていたら、まだ、いろいろな活動をしている。見えないところに問題

がたくさんあって、大きな目で見たら福祉がもっと進んで、皆さんの理解が進んだら、もっと住みよい加西市になると思う。

(議会) 子供たちのことで困った時はどういうところへ相談に行かれますか。

(育成会) 市役所の地域福祉課に行きますが地域福祉課は人が替わりすぎで、市長と語る会でもお願いしているが届いていない。年度内で替わるのは障害者を軽く見ている感じがする。

(議会) 民生委員さんとのつながりはないですか。

(育成会) 災害時のときの対応についてのアンケートは持ってきてくれるが、記入欄には家で対応すると記入する。それは実際には外で迷惑をかけられないので避難所にいかないで家で我慢しようと思う状況である。障害をもっている人たちの多くの現状なので、今は漠然とと思っている。何もされなくても見守っていただけたらいいと思う。安心できる決まりを作っていただきたい。

(議会) 宿泊可能な施設を早くつくる必要があると思う。そのあたりの情報はどうなっていますか。

(育成会) 短期入所に入りたいという方が増えている。国の施策が変わらなくて仕方がないのでなく、加西市としてどうするか。加西市としてどうすることもできないなら一緒に声を上げませんかということです。全てがリンクしているので、そのあたりが改善しないとどうすることもできない。

(議会) 市役所の中には専門性のある職員を育てる必要もありますが、他の部署に移っても理解につながる職員を増やしてもいます。障害に対しても差別をする人は減ってきたが、理解をするところまではまだまだ足りない。

障害があるゆえに当事者の方は心苦しいところがあるが、そんなことを気にする必要がないような加西市にしていかなければならないと思います。

市長は、国に先駆けて福祉、子育て等に取り組んでいます。ただ、声を出し続けて行かなければ変わらないのが行政です。今後、議会としても取り組んでいかなければならないと思っています。